

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

「東中国山地緑の回廊ワークショップ」2010の開催 in 芦津水辺の森



自然豊かな溪谷沿いのトレッキングコースを散策する参加者

7月24日（土）、近畿中国森林管理局・鳥取県智頭町の主催、鳥取県の後援による「東中国山地緑の回廊ワークショップ」を智頭町にある『芦津水辺の森』及び鳥取森林管理署管内沖ノ山国有林で実施しました。

同回廊の面積は7,645haでその約半分がスギ人工林となっており、国有林だけでなく民有林873haも含んでいます。そのため、昨年度に引き続き地域・民有林との連携や緑の回廊の普及啓発を図ることを目的としてワークショップを開催しました。

当日は晴天にも恵まれ、早朝から気温の上昇が予想されるなか、参加者は智頭町駅に集合しマイクロバスで現地へ向かいました。

現地での開会では、野口計画部長、寺坂智頭町長から挨拶を受けた後、田代指導普及課長から本日の案内者である指導者3名の紹介と緑の回廊の取組等について説明を行いました。

なお、智頭町は町面積の93%を山林が占め、その豊

かな自然環境を利用した「森林セラピー基地」に平成22年4月に認定され、森林浴のリラックス効果を科学的に解明し・提示し、心身の健康に活かそうとする試みを行っています。

また、今回のトレッキングコースでもある芦津溪谷の中国自然歩道の一部は、「セラピーロード」として認定されており、そのルートは地元の芦津財産区のスギ人工林を通り、ブナ天然林などがある「緑の回廊」を抜けるコースとなっています。コース途中には芦津溪谷にある「三滝」を眺め、森林鉄道跡のレールや石垣などを観察することができます。

さて、午前のトレッキングは、参加者を3班に分け、それぞれの指導者の案内のもと、猛暑の外界から離れ、芦津溪谷沿いを歩きながら歩道脇の「烏帽子岩」や「小豆転がし」など自然が創り出した岩の姿に魅せられ、歩く足下に森林鉄道跡の石垣を踏みしめながら、コナラ等の天然木に触れることができました。

昼食は、清流沿いの木陰で休息をかねてとった後、智頭町役場の山本参事からセラピー等についての町の取組や芦津財産区の寺谷議長から午後のコースでもある財産区の森林についての説明を受けました。

午後のトレッキングでは、手入れが行き届いた財産区のスギ人工林を散策し、コース途中の渓谷では、やや疲れぎみの足を清流に浸し一息入れたり、森林の木陰でリラックス体操を体験するなど、森林浴を満喫しました。

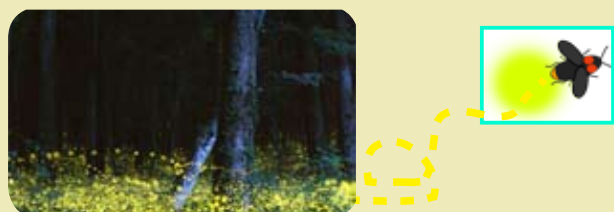
閉会では、塩永鳥取森林管理署長から参加者等へのお礼や署の取組などについて挨拶を受けた後、智頭駅で解散となりました。

これからも、兵庫・鳥取・岡山の3県にまたがり、国有林に隣接する民有林も含む「東中国山地緑の回廊」の効果を高めるためには、それぞれの地域や関係機関等が一体となった取組が不可欠です。そのため、連絡調整会議やワークショップの開催を通じて、より一層連携を深め、より良い緑の回廊となるよう努めていきたいと考えています。

地域ニュース

『金ボタルの生息する森林における施業の確立』

【森林技術センター】「金ボタル（和名：ヒメボタル）」が生息している天王山国有林（岡山県新見市哲多町）において、「森林と人との共生を重視した森林施業及び利用技術の確立」と題して、平成18年度から27年度までの10年間、金ボタル生息地の環境調査、幼虫確認調査、飛翔調査（写真撮影）及び人工林の間伐・枝打などを行い林床植生を回復させる作業を実施しています。



金ボタル【合成】 写真提供：新見市 美和哲也氏

天王山国有林に囲まれた天王八幡神社境内に生息する金ボタルは、岡山県の天然記念物に指定されており、国有林の一部も「特定動物生息地保護林」に指定して保護に努めています。

「金ボタル」は、一般的な「ヒメボタル」よりも体

長がより小型で、成虫（オス）が体長5mmとかなり小型の陸生のホタルです。飛翔する時期も7月上旬から7月下旬とゲンジボタルなどの水生のホタルと比べるとかなり遅くなります。



森林（林内）の整備状況



林内の下層植生回復状況

金ボタルの生息環境は、下層植生（ミヤコザサ、低木など）が発達した森林が適しています。今後も生育に適した環境と森林施業の関連性について継続して調査を行います。

関連ホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/

市民環境大学「エコカレッジ福井」を開催

【福井森林管理署】「福井市環境民パートナーシップ会議」との共催で、約20名が参加者して、午前中は室内講義（国有林の概要・現地で行う森林調査方法等の説明を行い）を実施し、午後からは北湯国有林に移動し、樹木、植物観察及び森林調査の現地実習等を行いました。



樹木の胸高直径の測定方法について教わる参加者

参加者からは、今まで何の意識もなく森林を見ていたが、今回の会議等に参加することにより、今後は様々な視線で森林を見る楽しみが増えたことと、森林を維持をしていくには、大変な苦労が必要などとの意見及び感想等が寄せられました。

今後もこのような機会があれば、各種団体等と連携し、市民の方々に国有林のPRを行ってまいります。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hukui/>

「遊々の森」で園児達と森の参観日を開催

【奈良森林管理事務所】遊々の森の協定を締結しているひかり幼稚園が、遊々の森「森の幼稚園ひかり」において、「森の参観日」を実施しました。

ひかり幼稚園は、園児達を森の中で遊ばせる等の活

動を通じて、森林や自然を大切にする気持ちを育てる目的で、幼稚園から徒歩で森林に入ることのできる大亀谷国有林をフィールドとして、保護者と一体となり活動を行っています。



注意事項等の説明を聞いた後、林内で保護者らと遊ぶ園児達

当日は、年長の園児70名と保護者が参加し、笹倉指導普及主幹から森での注意事項を説明した後、自然界の形や模様のおもしろさに気づき、観察力を高めることを目的に、葉っぱを使ったじゃんけんや森でのさまざまな図形を探すフィールドパターンを行いながら遊びました。

園児たちは、友達やお父さん、お母さんと一緒に、森の中にある様々な形の葉っぱや枝を見つけ、いろいろな角度から観察していました。また、森の中にいるカタツムリなどの昆虫等にも興味を示し、また遊びに来たい等の感想が聞かれ楽しい一時を過ごしました。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/>

しんもとしげやま 新元重山国有林で、クリーン作戦展開

【広島北部森林管理署】広島北部森林管理署と井関大矢自治振興会は、広島県神石高原町の新元重山国有林において、林野庁で定めた「国民の森林・クリーン月間」の期間中である7月28日に神石高原町など5団体の協力を得て、総勢32名でクリーン作戦を行いました。

国有林内に大量に投棄された灯油缶やイノシシよけの鉄柵、生活ゴミなど2トントラック3台分（総重量1320Kg）を回収しました。



不法投棄された粗大ゴミを回収する自治会メンバーと職員（左写真）とゴミ回収後の状況（下写真）

回収されたゴミの分別

当日は、7月のゲリラ豪雨で発生した災害追跡調査の取材等の影響により、報道記者の取材は3社にとどまったが、それ以外の報道機関に、終了後に連絡したところ、「内容を聞き総重量の多さに驚いていました。改めて山林への不法投棄実態を次回特集したい」旨のコメントもありました。

回収したゴミは全て神石高原町役場の協力により「クリーンセンターじんせき」に持ち込み処理されました。昨年も4トンもの不法投棄されたゴミが民有林と国有林の両方で発見され回収されています。

地元自治振興会会長も「2年連続の事で大変腹が立つ思い。地域としても若い人の定住施設誘致を陳情している最中にイメージダウンにつながる心ない行為である。地元も一層巡視を強化したい」と不法投棄防止に向けた固い決意が述べられました。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/>

オオダイガハラサンショウウオ の現地学習会を開催

【三重森林管理署】三重県教育委員会、環境森林部森林保全室と共同でオオダイガハラサンショウウオ現地学習会を開催しました。三重県多気郡大台町の大杉谷国有林で行われた同学習会には、署、県、紀北町の関係者21名が参集し、元三重県立博物館長富田靖男先生の指導の下、約2時間生息の確認調査を行い、幼体26匹の生息確認ができました。



オオダイガハラサンショウウオの生息確認調査を行う参加者

確認されたオオダイガハラサンショウウオの幼体

残念ながら成体の確認には至りませんでした。限られた地域においてオオダイガハラサンショウウオが繁殖していることが確認されました。

オオダイガハラサンショウウオは、三重県指定天然記念物として平成21年に保護管理指針が策定され、当署では治山事業等において生息に配慮した工法への転換を行い保護管理に向け協力しています。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/>

お知らせ

水都おおさか 森林の市 2010

天満音楽祭(10/10)と同時開催

「おおさか山の日」(11/13)協賛

スタンプラリー

・空クジなしのスタンプラリー
スタンプを7個集めて景品をもらおう!
(各日先着 1,000 名様)

木工体験

・親子で一緒にイス作り
・丸太切りに挑戦しよう
・端材のプレゼントもあるよ!

展 示

・森林の恵みや働きを紹介
・国産材・間伐材製品の展示と即売

ふるさと産品即売会

・里山で採れた野菜や果物
・ふるさとからの宅配便いろいろ

大川端に 森林が出現!?

主催:「水都おおさか森林の市 2010」実行委員会
NPO 法人大阪の子どもたちを水辺に誘う会、NPO 法人国産材住宅推進協会、NPO 法人自然と緑、オー・エー・ピー マネジメント(株)、大阪府、大阪府森林組合、近畿中国森林管理局、近畿農政局、(財)大阪みどりのトラスト協会、(社)大阪府木材連合会、天満音楽祭実行委員会、天満橋筋四丁目振興町会、独立行政法人水資源機構関西支社、日本日曜大工クラブ大阪支部、堺川地域社会福祉協議会、堀川連合振興町会 (50 音順)

後援:国土交通省近畿地方整備局、近畿地方環境事務所、(社)国土緑化推進機構、三重県、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、高知県、大阪市、大阪府教育委員会、奈良県木材協同組合連合会、奈良県森林組合連合会、(社)京都府木材組合連合会、京都府森林組合連合会、兵庫県木材業協同組合連合会、兵庫県森林組合連合会、滋賀県木材協会、滋賀県森林組合連合会、三重県木材協同組合連合会、三重県森林組合連合会、和歌山県木材協同組合連合会、和歌山県森林組合連合会、(財)大阪21世紀協会、(財)日本森林林業振興会大阪支部、(財)都島区コミュニティ協会、帝国ホテル 大阪、読売新聞大阪本社

木
づ
か
い
で
減
ら
そ
う

大
気
の
C
O
2

平成 22 年
10月9日(土)・10日(日)

場所:近畿中国森林管理局・
OAP・毛馬桜之宮公園周辺

入場無料

雨天決行

- 開催時間 -

10:00

~

16:00

JR
桜ノ宮駅
から
徒歩5分